



株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会議決権基準日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
上場金融商品取引所	東京
公告方法	当社公告につきましては、右記ホームページに掲載いたします。 http://www.nichirei.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載いたします。

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〔郵便物送付先〕	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話問合せ先〕	☎ 0120-288-324 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

株式事務の取扱い

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種のお手続きのお申出先について

1. 証券会社等の口座に記録された株式

ご照会等は、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
なお、郵送物の発送と返戻および支払期間経過後の配当金などに関するご照会は、株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社 証券代行部)に、お問合せください。

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行株式会社が口座管理機関となっていますので、お問合せください。

■未払配当金のお支払いのお申出先

株主名簿管理人でありますみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

■配当金のお支払いについて

第93期中間配当金は、次のいずれかの方法により、お支払い申しあげます。

1. 配当金領収証によりお受け取りの方

同封の「第93期中間配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の

うえ、最寄のゆうちょ銀行本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2010年12月3日(金)から2011年1月31日(月)まで)にお受け取りください。

また、同封しています「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や2011年の確定申告の際の添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、次回より口座振込をご希望の場合は、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引証券会社等に、特別口座の株主様は、みずほ信託銀行株式会社で、それぞれお手続きください。

2. 口座振込をご指定の方

配当金の口座振込をご指定の方は、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封していますので、ご確認ください。

なお、株式数比例配分方式により証券会社等で配当金をお受け取りの株主様につきましては、源泉徴収税額計算は、証券会社等にて行われますので、2011年の確定申告の添付書類は、お取引の証券会社等へご確認ください。



Vol.25

第93期中間 グループ報告書
2010年4月1日～2010年9月30日



© Hiromi Ikeda / Studio OZ Inc.



株式会社日本スマートエナジー

この印刷物は、印刷プロセスで使用する4.66kgのアルミ板をリユースして印刷することで、
CO₂排出量を42.54kg削減しました。

当CO₂削減認証は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。



42.54kgのCO₂削減量とは
樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約3.05本分が1年間に吸収するCO₂量に匹敵します。
(出典:林業白書)



「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループトータルネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

Contents

株主の皆様へ	2
第2四半期(6カ月間)の連結業績ハイライト	3
第2四半期(6カ月間)の連結業績概要	4
FOCUS	8
TOPICS	9
KEY WORD	11
INTRODUCTION	12
株式の状況	13
会社概要	14

Profile 表紙絵の画家プロフィール 池田 ヒロミ氏

1958年東京都生まれ。夢と希望に満ちた、平和で温かな情景を描くナイーブ派の画家として、出版・広告など幅広い分野で活躍中。2009年、現代童画会セルビア・東欧巡回展(セルビア・コヴァチツァ村)に出品。ほかに、全国の百貨店・画廊での個展を開催、グループ展出品多数。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第93期中間グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(6カ月間)のわが国経済は、設備投資や個人消費は持ち直しつつあるものの、アジア向けの輸出が弱含むなど、景気は足踏み状態にあり、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に持ち直していくことが期待される一方、海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動、国内ではデフレや高い水準の失業率などの影響により、景気の先行きについては依然として不透明な状況にあります。

食品業界におきましては、記録的な猛暑により野菜や果物などの生鮮品が高騰、外食産業においては猛暑やお盆時期が週末と重なった影響で客数が伸びた反面、

客単価は低下している状況にありました。

また、食品物流業界におきましては、政府の経済対策の効果により荷動きに回復の兆しが見えるものの、荷主による在庫の圧縮が続きました。

このような状況のなか、2010年4月より「グループ中期経営計画“energy 2012”(2010年度～2012年度)」がスタートしました。「事業戦略の着実な遂行とスピーディーな環境対応を通じて、持続的な利益成長へつなげること」を基本的なコンセプトとしています。ステークホルダーの皆様への期待に応えるために、事業活動を推進し、事業ビジョン達成に向けて計画を力強く実行することで、今後の持続的成長をめざします。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月吉日

グループミッション・ビジョン

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。



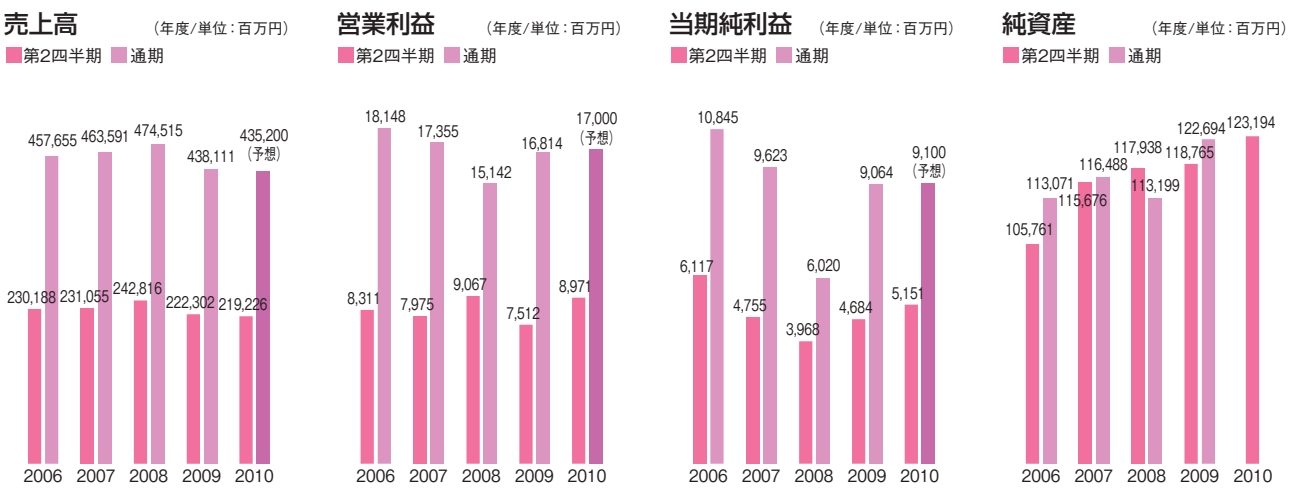
代表取締役会長

浦 聖 光 人

代表取締役社長

村 井 利 彰

第2四半期(6カ月間)の連結業績ハイライト



区 分	単位	2006年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	2010年度 第2四半期
売 上 高	百万円	230,188	231,055	242,816	222,302	219,226
営 業 利 益	百万円	8,311	7,975	9,067	7,512	8,971
当 期 純 利 益 (四 半 期 純 利 益)	百万円	6,117	4,755	3,968	4,684	5,151
純 資 産	百万円	105,761	115,676	117,938	118,765	123,194

(注) 1. 損益影響度が大きい会計処理基準の変更について
2010年度から、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 2008年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 2008年3月31日)を適用しています。
※「資金除去債務」とは、有形固定資産の取得、建設、開発または通常の使用によって生じ、当該有形固定資産の除去(売却、廃棄、リサイクルなどによる処分)に関して法令または契約で要求される法律上の義務およびそれに準ずるものをいいます。

2. 連結通期予想(2010年10月26日公表)は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等により記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

中間配当金

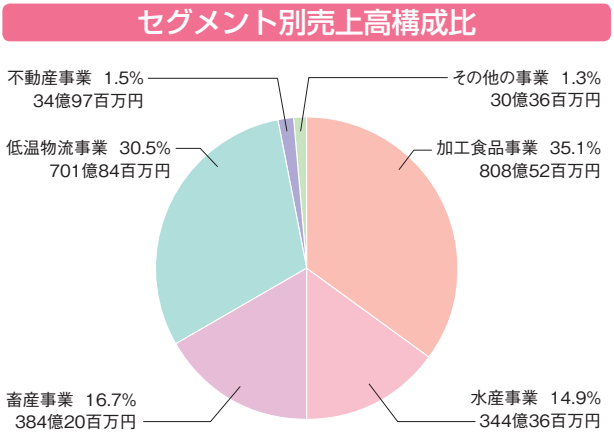
中間配当金は1株につき4円とし、2010年12月3日を支払開始日とさせていただきます。

第2四半期(6カ月間)の連結業績概要

売上高は、水産・低温物流事業は増収となりましたが、加工食品事業において収益性改善策として実施した商品アイテムの絞込みや前期のアセロラ飲料の事業譲渡の影響から2,192億26百万円(前年同期比1.4%の減収)となりました。

利益面では、加工食品事業において製品・原材料調達コストの低下や生産性改善が進んだことから19億円の増益となりましたが、低温物流において新設した物流センターの稼働による減価償却費の増加や荷主の物流費抑制の動きから在庫水準が低下したことなどにより、営業利益は89億71百万円(前年同期比19.4%の増益)、経常利益は営業利益の増加を受けて86億円(前年同期比25.8%の増益)となりました。

四半期純利益は、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」として7億円を特別損失計上したことなどにより51億51百万円(前年同期比10.0%の増益)となりました。



セグメント情報

●連結子会社数 73社 ●持分法適用関連会社数 12社

第2四半期 2010年4月1日から2010年9月30日まで (単位:百万円)

	売上高	営業利益
加 工 食 品 事 業	80,852	2,484
水 産 事 業	34,436	668
畜 産 事 業	38,420	48
低 温 物 流 事 業	70,184	3,892
不 動 産 事 業	3,497	1,898
そ の 他 の 事 業	3,036	172
計	230,428	9,165
調 整 額	(11,201)	(194)
連 結	219,226	8,971

前第2四半期 2009年4月1日から2009年9月30日まで (単位:百万円)

	売上高	営業利益
加 工 食 品 事 業	85,320	521
水 産 事 業	33,723	350
畜 産 事 業	38,366	287
低 温 物 流 事 業	69,454	4,079
不 動 産 事 業	※3,596	※1,856
そ の 他 の 事 業	※3,329	※161
計	233,791	7,256
調 整 額	(11,488)	256
連 結	222,302	7,512

※:2010年4月1日付をもって、当社連結子会社間で企業再編(合併)を実施したことから、セグメント情報のうち、不動産事業とその他の事業の売上高、営業利益を当第2四半期の表示に組み替えをしています。

第2四半期(6カ月間)の連結業績概要

第2四半期連結貸借対照表(要旨) (単位: 百万円)

区 分	第2四半期 2010年9月30日現在	前 期 2010年3月31日現在
流 動 資 産	100,135	94,833
固 定 資 産	185,932	182,662
有 形 固 定 資 産	143,979	140,806
無 形 固 定 資 産	5,709	4,413
投 資 そ の 他 の 資 産	36,243	37,442
資 産 合 計	286,067	277,496
流 動 負 債	96,895	89,550
固 定 負 債	65,977	65,251
負 債 合 計	162,872	154,802
株 主 資 本	119,538	115,943
資 本 金	30,307	30,307
資 本 剰 余 金	23,709	23,709
利 益 剰 余 金	65,920	62,318
自 己 株 式	△ 399	△ 393
評 価 ・ 換 算 差 額 等	399	3,524
少 数 株 主 持 分	3,256	3,225
純 資 産 合 計	123,194	122,694
負 債 純 資 産 合 計	286,067	277,496

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表のポイント

(括弧内は前期末比の増減)

総資産 2,860億円 (85億円の増加)

- 季節的要因により、売上債権、たな卸資産が増加したことなどにより流動資産は53億円増加
- 投資有価証券の時価評価額が減少する一方、設備投資や「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い、有形固定資産が増加したことなどにより、固定資産は32億円増加

負債 1,628億円 (80億円の増加)

- 設備投資や子会社株式の取得に対する支払いを行ったことなどにより有利子負債が61億円増加、資産除去債務を18億円計上したことや季節的要因による買掛金の増加などにより、負債は80億円増加

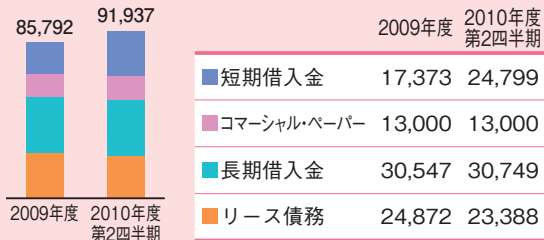
純資産 1,231億円 (5億円の増加)

- 四半期純利益51億円計上、配当金の支払い15億円などにより利益剰余金は36億円増加
- 評価・換算差額等が31億円減少

有利子負債のポイント

有利子負債は、設備投資や子会社株式の購入などにより61億円増加し、919億円となりました。

有利子負債の状況 (単位: 百万円)



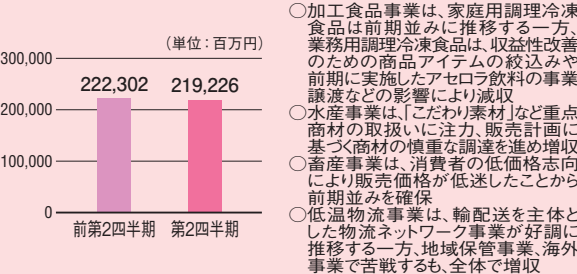
第2四半期連結損益計算書(要旨) (単位: 百万円)

区 分	第2四半期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
売 上 高	219,226	222,302
売 上 原 価	174,695	177,573
売 上 総 利 益	44,530	44,729
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	35,558	37,216
営 業 利 益	8,971	7,512
営 業 外 収 益	912	767
営 業 外 費 用	1,284	1,442
経 常 利 益	8,600	6,836
特 別 利 益	1,008	1,158
特 別 損 失	1,525	529
税金等調整前四半期純利益	8,083	7,465
法人税、住民税及び事業税	3,542	2,700
法 人 税 等 調 整 額	△ 686	45
少 数 株 主 利 益	75	34
四 半 期 純 利 益	5,151	4,684

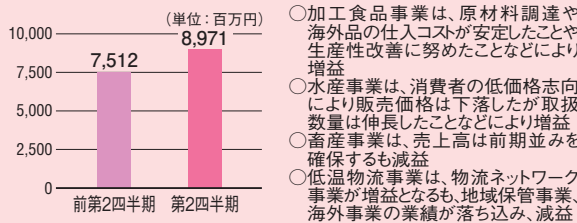
損益計算書のポイント

(括弧内は前年同期比の増減)

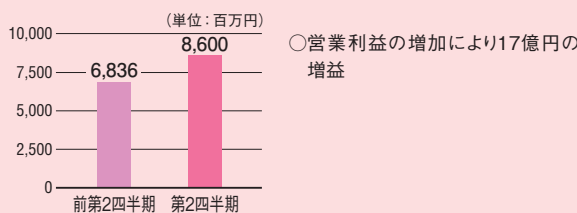
売上高 2,192億円 (30億円の減収)



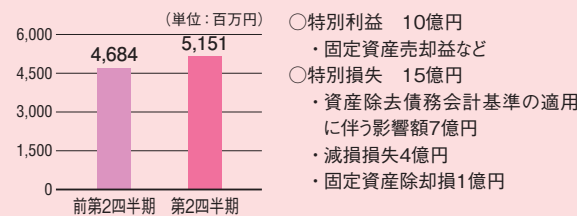
営業利益 89億円 (14億円の増益)



経常利益 86億円 (17億円の増益)



四半期純利益 51億円 (4億円の増益)



第2四半期(6カ月間)の連結業績概要

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：百万円)

区 分	第2四半期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
●営業活動によるキャッシュ・フロー	7,700	9,984
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,218	△ 6,039
●財務活動によるキャッシュ・フロー	4,185	△ 17,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 587	241
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,919	△ 13,680
現金及び現金同等物の期首残高	6,239	19,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,319	5,883

設 備 の 状 況

①設備投資等の概要 (単位：百万円)

	第2四半期 2010年4月1日から2010年9月30日まで	前第2四半期 2009年4月1日から2009年9月30日まで
資本的支出	10,279 (1,008)	11,774 (4,620)
設備投資額	9,973 (1,001)	11,307 (4,601)
減価償却費	6,775 (1,850)	6,573 (1,858)

(注) 上記の金額は、リース資産およびリース資産に係る減価償却費を含め、当該金額を括弧に内書きで記載しています。

②第2四半期連結累計期間に実施した重要な設備投資の内容 (単位：百万円)

完了年月	会社名 事業所名	所在地	セグメントの 名称	設備の内容	設備投資総額	第2四半期連結累計 期間計上額(既計上額)	完成後の 増加能力
2010年5月	(株)ニチレイ・アイス 東京アイスプラント	東京都港区	加工食品	凍氷施設増強整備工事	428	66 (428)	日産 17t
2010年8月	(株)ニチレイ・ロジスティクス九州 福岡東浜物流センター	福岡市東区	低温物流	物流センターの新設	4,810	2,159 (4,810)	冷蔵 20,769t
2010年10月	GFPT Nichirei (Thailand) Co.,Ltd.	タイ国 チョンブリ県	加工食品	生産工場の新設	※6,568	3,617 (4,608)	日産 64t
2010年10月	Surapon Nichirei Foods Co.,Ltd. カピンブリ第2工場	タイ国 プラチンブリ県	〃	生産工場の増設	※1,512	929 (1,323)	日産 24t
2011年2月 (予定)	(株)ニチレイ・ロジスティクス関東 東扇島物流センター	川崎市川崎区	低温物流	物流センターの新設	※5,629	— (1,519)	冷蔵 42,258t

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。
2. 「設備投資総額」の※は、計画数値です。

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

P O I N T
キャッシュ・フロー計算書のポイント

(括弧内は前年同期比の増減)

営業活動によるキャッシュ・フロー 77億円の収入(22億円の減少)

○経常利益は86億円、減価償却費は68億円を計上する一方、法人税等の支払いや季節的要因による営業資金(売上債権、たな卸資産、仕入債務)の支出などにより、77億円の収入

投資活動によるキャッシュ・フロー 132億円の支出(71億円の減少)

○有形固定資産の取得による支出や欧州における子会社株式購入などにより、132億円の支出

財務活動によるキャッシュ・フロー 41億円の収入(220億円の増加)

○配当金などを支払う一方、短期借入金増加により、41億円の収入

以上により、当会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前会計年度末に比べ19億円減少し、43億円となりました。

FOCUS

中国産冷凍野菜の管理体制

ニチレイフーズでは、「食の安全・安心」の実現のため徹底した品質管理をめざしています。日本に輸入される冷凍野菜のうち、多くを占める中国産冷凍野菜について、当社の品質管理に関する取組み(農場管理、農薬管理、農薬検査)を、ご紹介します。

農場管理

使用する原料は、栽培に関する諸条件(環境、灌水、土壌など)を定めた統一栽培管理基準を満たした生産工場の自営農場または契約農場で栽培されたものを使用します。

さらに、生産工場のフィールドマン(農場監視員)が、定期的に各農場を巡回し、農薬散布などの管理・指導を行っています。各作業の内容は記録され、必要時には確認できるようになっています。

農薬検査

農薬については、選定、購入、保管、使用までを管理しています。栽培シーズン・作物ごとに、日本の農薬使用基準を参考に使用農薬リストを作成します。その上で、指定されたメーカーの農薬を購入し、専用倉庫で保管、入出庫の履歴を取り、適正な使用を確認します。農薬の散布は、フィールドマンの指導・監視のもと定められた手順に基づいて行われます。

農薬検査

残留農薬検査は、収穫前原料、加工半製品、輸入時の製品段階で行われます。原料検査は、各生産工場の検査室で、収穫ごと農場ごとに実施しています。

また半製品検査は、中国国内のニチレイグループ企業である錦築(煙台)食品研究開発有限公司で、製品検査は、

▼ほうれん草の収穫の様子



▲農薬検査風景。検査員が半製品検査を行います



輸入時にニチレイ品質保証部食品安全センターで実施しています。

残留農薬が検出された場合、基準値内の微量な数値であっても、ニチレイフーズのガイドラインに基づき、現地調査を行い、原因の究明、未然防止策の実施を図るシステムを確立しています。

製品パッケージの印字コードにより、原料から加工までの全工程を追跡管理できる体制を構築しています。

.....

最後に、ニチレイフーズは、環境にやさしく、おいしい冷凍野菜作りをめざして、これからも現地生産工場との強い協調のもと、地道な取組みを続けていきます。

株式会社ユニベイクジャパン

“We love bread, We are Unibaker”
“新たなコア事業をめざして”
“北欧の冷凍パンを日本、そしてアジアの食卓へ”



本年4月、株式会社ニチレイフーズは、デンマークに本社を置く冷凍パンメーカーラントメネン・ユニベイク社のグループ会社であるラントメネン・ユニベイク・ジャパン株式会社の発行済株式51%を取得し、会社名を新たに、株式会社ユニベイクジャパンとしてスタートしました。株式会社ニチレイフーズを通じ、欧州の各種ブレッドやクロワッサン、デニッシュ類の販売を行います。

ラントメネングループは、スウェーデンの農家45,000人を母体とする北欧最大の食品と農業の集合体です。『大地から食卓まで』の企業コンセプトのもと、麦の種の品質管理から育成、栽培、収穫、製粉、そしてパン作りまで、ラントメネングループが一貫した生産管理工程を持っています。

こだわりは、冷凍パンに用いられる水と塩です。デンマークは95%以上を地下水で補っている世界唯一の国です。そして、パン作りに重要な塩は、何百万年前の地中に眠っていた天然塩を使用しています。

冷凍パンは、北欧の家庭の冷凍庫には必ずと言ってよいほどストックされている定番食材です。日本では未だ見かけない光景ですが、北欧のスーパーマーケットではカラフルなパッケージで包装された様々な種類の冷凍パンが、ずらりと並んでいます。

いつでも焼き立てパンの香ばしさ、食感を味わっていただきたく、「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする、北欧生まれのおいしいパンを皆様の食卓にお届けできることに感動、そして感謝です。

会社概要 (2010年9月末現在)

社名：株式会社ユニベイクジャパン
所在地：〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-35 ラティス芝浦511
設立年月日：2010年4月15日
資本金：3,000万円(株式会社ニチレイフーズ51% ラントメネン・ユニベイク・アジア株式会社49%)
代表者：代表取締役社長 長沼 均
売上高：7億5,000万円(2010年度目標)
従業員数：4名
事業内容：ラントメネン・ユニベイク社が有する北欧を中心とした11ヶ国26工場から厳選された商品をニチレイフーズの販売網を活用し展開



両首脳の顔合わせ(左：ラントメネン・ユニベイク社、CEO Bent Pultz Larsen、右：ニチレイフーズ相馬義比古代表取締役社長)



ラントメネン・ユニベイク社(本社)の冷凍パン工場



おいしさをお届けします



欧州で販売されている冷凍パン

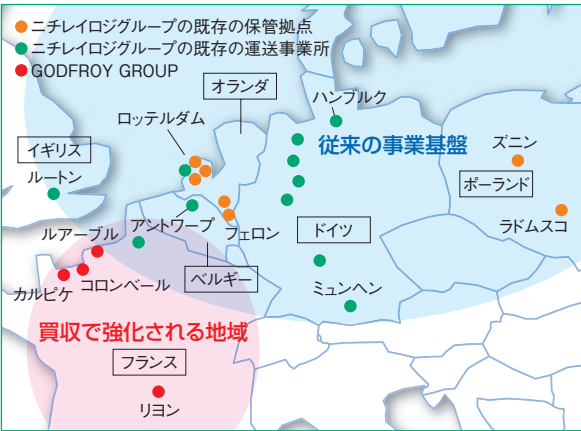
GODFROY GROUP 4社
欧州の低温物流ネットワークが、さらに充実



株式会社ニチレイロジグループ本社の欧州子会社Nichirei Holding Holland B.V.※1(所在地:オランダ、以下「NHH」)は2010年7月にフランスの低温物流会社4社(Transports Godfroy S.A.S.※2、Entrepots Godfroy S.A.S.、Les Entrepots De L'Ocean S.A.S.、Societe Des Entrepots Du Plateau S.A.S.、以下「S.A.S.」を省略)を買収しました。

低温運送事業を営むTransports Godfroyは70台のトレーラートラックを保有し、フランス全土への配送を行っています。

その他の3社は、フランス北西部のノルマンディー地方で冷蔵倉庫事業を営んでいます。Entrepots Godfroyはカルピケ市に18,000tの冷蔵倉庫を、Les Entrepots De L'Oceanは



フランス最大の港であるルアーブルに8,800tの冷蔵倉庫を、Societe Des Entrepots Du Plateauはコロネル市に13,200tの冷蔵倉庫をそれぞれ保有しています。



西欧域へのネットワークが拡がります

NHHグループは、オランダ・ドイツ・ポーランドと中東欧域へ事業展開していますが、今回これらの会社に加わることでフランス国内はもとより、さらに西欧域への展開も視野に入れ、一層の事業基盤強化に努めています。

※1. B.V. : Besloten Vennootschap (有限責任株式会社非公開会社)オランダの企業形態のひとつ
※2. S.A.S. : Societe par Action Simplifiee(単純型株式資本金会社)フランスの企業形態のひとつ

GODFROY GROUPの沿革	
年 号	内 容
1974年5月	Lionel Godfroy氏、Thierry Godfroy氏の兄弟がカルピケ市にTransports Godfroyを設立
1986年4月	カルピケ市にEntrepots Godfroyを設立し、冷蔵倉庫事業に進出
2004年7月	冷蔵倉庫事業拡大のため、コロネル市にSociete Des Entrepots Du Plateauを設立
2005年6月	輸入貨物取扱拡大のため、ルアーブルの経済特区にLes Entrepots De L'Oceanを設立
2010年7月	NHHグループに加わり、今後はヨーロッパにおける低温物流ネットワーク充実に貢献することを期待！

Key Word

ニチレイグループならではの企業活動やトピックスなどをキーワードによりご紹介します。

社会貢献

ニチレイグループでは、地域・社会貢献の分野で様々な活動を行っています。中学高校の職場体験学習、団体の研修の一環として、物流センターやプロセスセンターへの受入・見学会を実施しています。活動の一例をご紹介します。



小樽物流センター(ニチレイ・ロジスティクス北海道)

2010年6月2日、札幌市立向陽中学校2年生22名を対象に見学会を実施しました。

庫内見学や冷蔵倉庫という特殊環境を体感し、見学後の質疑応答では、生徒さんから様々な質問が寄せられました。2002年より同校の訪問学習の受入を行っています。

横浜南センター(ニチレイフレッシュプロセス)

2010年6月17日、鹿児島県立甲南高校10名が横浜南センターでの体験学習に取組みました。

職場説明や生産現場での体験学習を通し、「食品の流通(生鮮食肉)」について、理解を深めました。



広島物流センター(ニチレイ・ロジスティクス中国)

2010年6月7日、独立行政法人 国際協力機構(JICA)主催「アジア地域における物流システムの改善と統合研修」の一環として見学会を実施しました。

見学会では、アジア地域6ヶ国より6名の研修生が参加、冷蔵倉庫内の温度管理や在庫管理の効率化、低温物流インフラの構築について意見交換をしました。



Introduction

定番、売れ筋商品(家庭用)をご紹介します。

パラッと本格仕上げの炒飯が電子レンジ調理で簡単に！

～『本格炒め炒飯』～



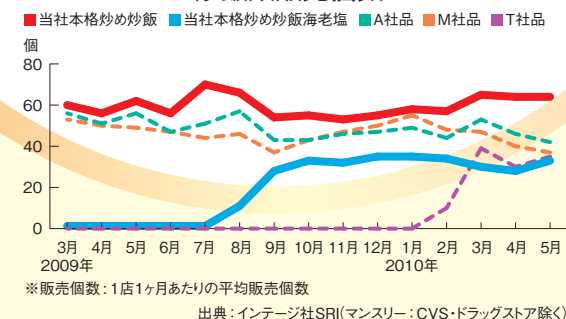
ご家庭の火力では作ることが難しい「中華鍋で作る本格派の炒飯」が電子レンジ調理で簡単に味わえます。

にんにく、しょうが等を配合した特製醤油タレで

焼豚を煮込み、さらにご飯、卵と一緒に炒めることで、炒飯のまろやかなコクを引き出しています。発売10年目を迎え、今なお、お客様より大変なご好評をいただいています。

数ある冷凍炒飯類の中でも売上げNo.1をキープ。今後も、お客様からのご支持を得られるよう、おいしさを追求し続けます。

炒飯類販売個数*



冷めても、やわらかジューシーなお弁当からあげです。



1987年の発売以来、お客様にご好評をいただいているロングヒット商品の『からあげチキン』です。

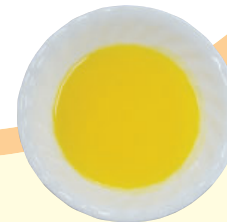
着色料、保存料、化学調味料を不使用。ご家族へのお弁当定番商品です。

2010年春のリニューアルでは、「冷めてもやわらかジューシー」品質を、さらに向上させるために、ニチレイフーズ長崎工場製鶏油を使用し、鶏肉の「旨み」と「豊かなコク」をプラスしました。

今後も、安全・安心、おいしさを追求し、お客様に支持される商品作りを継続していきます。

こだわりの鶏油

- 長崎工場のブイヨン技術を活かした鶏油
- 玉ねぎ、にんじんの甘みでバランスのよい風味
- 常圧抽出で自然な風味
- 手作業で丁寧なモノ作り



家庭用

商品のお問合せ先：お客様相談センター 0120-69-2101【受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)】

発行可能株式総数 720,000,000株

発行済株式総数 310,851,065株

※発行済株式総数には、自己株式(930,827株)を含んでいます。

単元株式数 1,000株

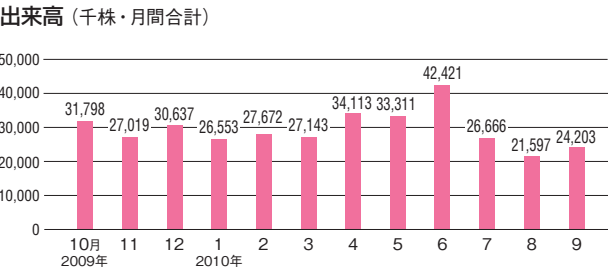
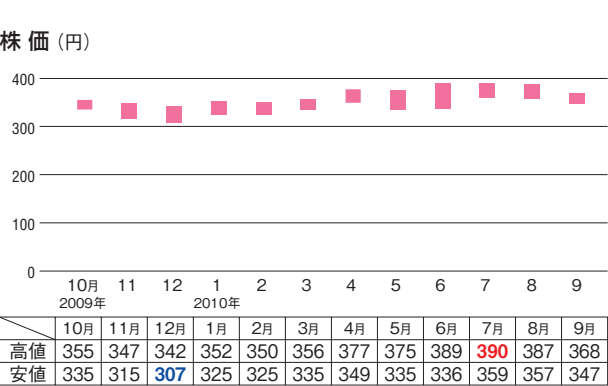
株主数 29,593名

●大株主

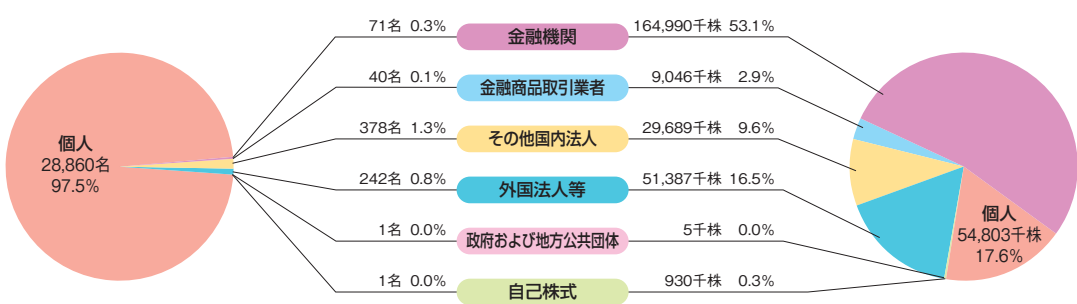
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,323	8.2
日本生命保険相互会社	16,785	5.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,908	5.1
株式会社みずほコーポレート銀行	15,370	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,903	4.5
株式会社損害保険ジャパン	11,059	3.6
第一生命保険株式会社	5,716	1.8
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,598	1.8
農林中央金庫	5,350	1.7
富国生命保険相互会社	4,100	1.3

(注)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。

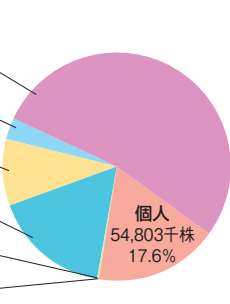
●株価チャート



●所有者別株主数分布状況



●所有者別株式数分布状況



社 名 株式会社ニチレイ

所 在 地 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号

ニチレイ東銀座ビル

設 立 1942年12月

役 員 代表取締役 会 長 浦 野 光 人

代表取締役 社 長 村 井 利 彰

取 締 役 専務執行役員 相 馬 義比古

取 締 役 専務執行役員 長谷川 寿

取 締 役 執行役員 河 合 義 雄

取 締 役 執行役員 荒 剛 史

取 締 役 執行役員 中 村 隆

社外取締役 判 治 誠 吾

社外取締役 炭 谷 俊 樹

社外取締役 川 俣 美由里

常任監査役 (常 勤) 三 田 勇太郎

監 査 役 (常 勤) 山 口 秀 俊

社外監査役 (非 常 勤) 齊 田 國太郎

社外監査役 (非 常 勤) 安 念 満

執行役員 山 田 達 男

執行役員 森 康 益

執行役員 大 谷 邦 夫

会計監査人 新日本有限責任監査法人

東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル



(株)ニチレイ本社ビル

<http://www.nichirei.co.jp/>

情報満載のホームページ

事業紹介や株主・投資家向け情報はもちろん、皆様のお役に立つ商品・サービス情報を掲載しています。

